

2020年3月期 第1四半期 決算実績 概況資料

2019年8月1日

株式会社西武ホールディングス（9024）
<http://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー

P2

II. 2020年3月期 第1四半期の主な取り組み

P6

III. セグメント情報及び営業指標

P8

IV. 決算実績詳細

P21

V. 2020年3月期 連結業績予想

P25

2020年3月期 第1四半期 決算実績

(金額単位：億円)

	2019/3期 第1Q	2020/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)	
営業収益	1,362	1,448	+85	+6.3%
営業利益	201	215	+13	+6.6%
償却前営業利益 [※]	332	353	+20	+6.3%
経常利益	183	194	+10	+5.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	128	142	+13	+10.7%

※償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

決算実績ポイント

■ 営業収益

建設事業における民間住宅工事やリノベーション工事の増加、ホテル業におけるRevPARの上昇、分譲マンション「アンヴィーネ 保谷」の引渡しのほか、西武ライオンズの観客動員数の増加などにより増収

▶ 3ページ

■ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

増収により増益

▶ 4・21・22ページ

<西武鉄道・鉄道業>

運輸収入 前年同期比+1.4% (定期△0.2%、定期外+2.7%)

▶ 9ページ

<ホテル業>

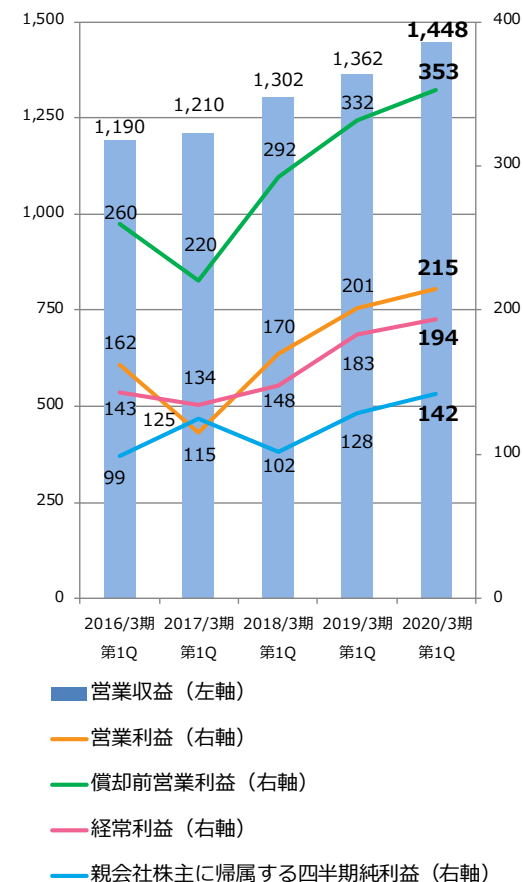
RevPAR 12,500円 (前年同期比+7.0%)

シティ 14,336円 (同+5.7%)、リゾート 8,582円 (同+12.2%)

▶ 11ページ

業績の推移

(金額単位：億円)



セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2019/3期 第1Q	2020/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	404	411	+7	+1.8%	鉄道業において、メットライフドームでのコンサート開催数の増加、ムーミンバレーパークの開業や、大型連休の行楽需要の取込みなどにより定期外の旅客運輸収入が増加したことや、西武電設工業において前期からの繰越工事が増加したことにより増収
ホテル・レジャー事業	527	547	+20	+3.9%	大型連休の行楽需要の取込みなどによるホテル業のRevPAR上昇および食堂部門の客数の増加や、StayWell社において前期に事業取得したABホテルズLtdや新たに開業したホテルが収益に寄与したことなどにより増収
不動産事業	165	179	+14	+8.7%	分譲マンション「アンヴィーネ 保谷」の引渡しや、ダイヤゲート池袋の開業などにより増収
建設事業	202	248	+45	+22.3%	民間住宅工事やリノベーション工事、土木工事の増加などにより増収
ハワイ事業	49	55	+5	+11.1%	前期ウェスティンブランドに加盟し、リニューアルオープンしたウェスティンハプナ ビーチ リゾートが収益向上に寄与したほか、プリンス ワイキキのRevPAR上昇および食堂部門の客数の増加などにより増収
その他	125	136	+10	+8.3%	西武ライオンズにおいて各種営業施策の実施により観客動員数が増加したほか、メットライフドームのコンサート等の貸会場収入が増加したことなどにより増収
調整額	△ 113	△ 131	△ 18	—	
連結数値	1,362	1,448	+85	+6.3%	

セグメント別営業利益・償却前営業利益

■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2019/3期 第1Q	2020/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	83	85	+1	+1.7%	鉄道業における人件費、動力費や、一般管理費が増加したものの、増収により増益
ホテル・レジャー事業	37	36	△1	△4.6%	増収による増益があったものの、新規事業関連費用等の販管費が増加したことなどにより減益
不動産事業	55	56	+1	+2.4%	ダイヤゲート池袋の減価償却費の計上などがあったものの、増収により増益
建設事業	5	11	+5	+97.5%	増収に加え利益率が向上したことなどにより増益
ハワイ事業	△0	1	+1	—	増収により損益が改善
その他	13	19	+5	+41.5%	増収により増益
調整額	5	5	△0	△8.8%	
連結数値	201	215	+13	+6.6%	

■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2019/3期 第1Q	2020/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	135	137	+1	+0.8%	
ホテル・レジャー事業	77	78	+0	+0.3%	
不動産事業	80	86	+5	+6.5%	
建設事業	6	12	+5	+84.2%	
ハワイ事業	5	8	+2	+40.8%	
その他	21	27	+6	+29.7%	
調整額	4	4	+0	+3.0%	
連結数値	332	353	+20	+6.3%	

I. エグゼクティブ・サマリー P2

II. 2020年3月期 第1四半期の主な取り組み P6

III. セグメント情報及び営業指標 P8

IV. 決算実績詳細 P21

V. 2020年3月期 連結業績予想 P25

2020年3月期第1四半期の主な取り組み

全体

- ・コーポレート・ガバナンス強化の観点から、取締役に対する新たな株式報酬制度を導入
- ・SDGsを意識した社会課題解決への取り組み「サステナビリティアクション」を推進

都市交通・沿線事業

- ・西武新宿駅のリニューアル工事が完成し、西武鉄道では2カ所目の訪日外国人向け観光案内所オープン（2019年4月1日）
- ・西武鉄道沿線レジャー施設（としまえん、西武園ゆうえんちなど）で、使い捨てプラスチック製ストローを順次廃止（2019年5月下旬以降）
- ・公式スマートフォンアプリ「西武線アプリ」にナビゲーション機能を搭載し、「のるタップ」サービスとして提供開始（2019年6月28日本格稼働開始）

ホテル・レジャー事業

- ・次世代型宿泊特化ホテル「プリンス スマート イン 熱海」開業決定（2020年夏開業予定）
- ・イギリス・ロンドンで展開する新ラグジュアリーブランドのホテル名称を「The Prince Akatoki London」に決定（2019年9月16日開業予定）
- ・品川プリンスホテル アネックスタワー高層階3フロアの客室をリニューアルオープン（2019年4月8日）
- ・グランドプリンスホテル新高輪 スイートルームを2室増設しオープン（2019年4月5日）
- ・軽井沢プリンスホテルにおいてG20「持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」を受け入れ（2019年6月15日、16日）
- ・世界的な問題となっている食品ロスに対し、「食品ロス削減に向けた実施計画」を策定（2019年5月16日）

不動産事業

- ・ダイヤゲート池袋が開業（2019年4月）
- ・東長崎駅南口に賃貸住宅・商業施設・保育所からなる複合施設竣工
沿線で計6カ所目となる駅チカ賃貸住宅「エミリブ東長崎」入居者募集開始（2019年6月28日）
- ・飯能駅南口に駅チカ保育所「Nicot 飯能」を開設決定（2020年4月1日開設予定）

その他

- ・メットライフドームエリア改修計画を推進
「ライオンズ チームストア フラッグス」「新室内練習場・若獅子寮」「オフィス棟」竣工（2019年6月）
- ・西武ライオンズがニューヨーク・メッツとパートナーシップ契約を締結（2019年5月4日）



西武新宿駅 改札外コンコース



プリンス スマート イン 熱海
外観イメージ



The Prince Akatoki London
客室イメージ



ライオンズ チームストア フラッグス

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2020年3月期 第1四半期の主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2020年3月期 連結業績予想	P25

都市交通・沿線事業 概況

(金額単位：百万円)

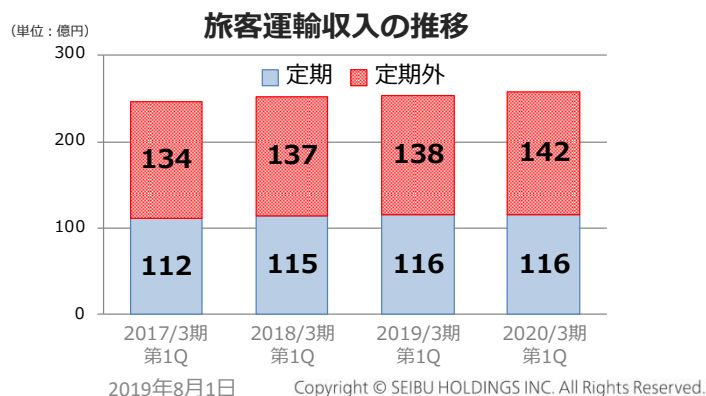
	2019/3期 第1Q	2020/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	40,438	41,177	+739	+1.8%	
鉄道業	26,637	27,258	+621	+2.3%	定期外の旅客運輸収入が増加したことや、西武電設工業において前期からの繰越工事が増加したことにより増収
バス業	6,611	6,623	+11	+0.2%	路線バスが堅調に推移し増収
沿線レジャー業	5,325	5,385	+59	+1.1%	としまえんの入園者数が増加したことなどにより増収
その他	1,863	1,910	+46	+2.5%	横浜アリーナの稼働日数が増加したことなどにより増収
営業利益	8,366	8,511	+145	+1.7%	鉄道業における人件費、動力費や、一般管理費が増加したものの、増収により増益
償却前営業利益	13,599	13,702	+103	+0.8%	【西武鉄道 鉄道事業部門費用】(対前年同期増減) ・人件費 7,023 (+274) ・修繕費 1,078 (△104) ・動力費 1,517 (+85) ・減価償却費 3,862 (△80) ・固定資産除却費 117 (+74)

都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

	2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期 増減率	2019/3期 第1Q	対前年同期 増減率	2020/3期 第1Q	対前年同期 増減率
輸送人員	定期	104,848	+2.0%	108,022	+1.0%	107,936	△ 0.1%
	定期外	61,249	+1.5%	62,573	+0.7%	63,851	+2.0%
	計	166,097	+1.8%	170,596	+0.9%	171,787	+0.7%
旅客運輸 収入	定期	11,288	+2.1%	11,643	+1.0%	11,617	△ 0.2%
	定期外	13,476	+2.3%	13,888	+0.7%	14,267	+2.7%
	計	24,765	+2.2%	25,532	+0.8%	25,885	+1.4%
運輸雑収	996	996	△ 0.0%	995	△ 0.1%	987	△ 0.8%
収入合計	25,761	26,317	+2.2%	26,527	+0.8%	26,873	+1.3%



■ 定期

大型連休が10連休となったことにより、平日日数が少なく、定期利用のお客さまが定期外利用に移行したことなどにより減少

■ 定期外

定期からの移行があったことや、メットライフドームでのコンサート開催数の増加、ムーミンバレーパークの開業、大型連休の行楽需要の取込みなどにより増加

ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第1Q	2020/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	52,723	54,799	+2,076	+3.9%	
ホテル業（シティ）	32,525	33,597	+1,071	+3.3%	大型連休の行楽需要取込みなどによるRevPARの上昇、食堂部門の客数の増加などにより増収
ホテル業（リゾート）	8,574	9,077	+502	+5.9%	大型連休の行楽需要取込みなどによるRevPARの上昇により増収
ゴルフ場業	3,598	3,519	△ 78	△ 2.2%	4月の降雪や6月の天候不順などの影響により減収
その他	8,024	8,605	+581	+7.2%	StayWell社において前期に事業取得したABホテルズLtdや新たに開業したホテルが収益に寄与したこと、横浜・八景島シーパラダイスにおいて大型連休の行楽需要を取込んだことなどにより増収 [StayWell社 ホテル運営数] 2020/3期1Q末時点 25、2019/3期1Q末時点 22
営業利益	3,775	3,601	△ 174	△ 4.6%	増収による増益があったものの、新規事業関連費用等の販管費が増加したことなどにより減益
償却前営業利益	7,783	7,805	+21	+0.3%	

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

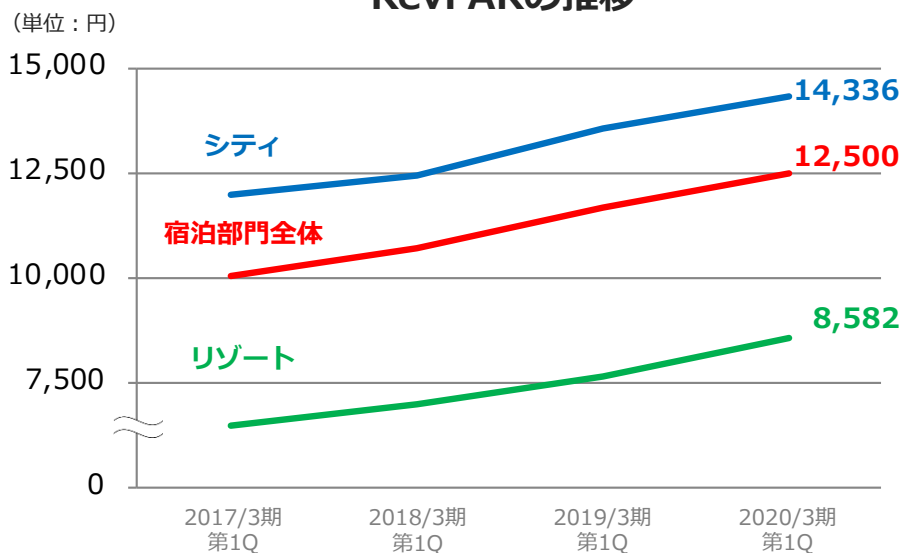
(RevPAR・平均販売室料：円)

		2017/3期	2018/3期	対前年同期	2019/3期	対前年同期	2020/3期	対前年同期
		第1Q	第1Q	増減率	第1Q	増減率	第1Q	増減率
RevPAR	シティ	11,987	12,438	+3.8%	13,567	+9.1%	14,336	+5.7%
	高輪・品川エリア	13,112	12,821	△ 2.2%	13,805	+7.7%	14,296	+3.6%
	リゾート	6,463	7,002	+8.3%	7,646	+9.2%	8,582	+12.2%
	軽井沢エリア	12,708	13,932	+9.6%	13,713	△ 1.6%	16,297	+18.8%
	宿泊部門全体	10,029	10,727	+7.0%	11,685	+8.9%	12,500	+7.0%
平均販売室料	シティ	15,012	15,472	+3.1%	15,775	+2.0%	16,285	+3.2%
	高輪・品川エリア	15,375	15,377	+0.0%	15,393	+0.1%	15,968	+3.7%
	リゾート	13,529	13,259	△ 2.0%	13,534	+2.1%	14,526	+7.3%
	軽井沢エリア	23,565	23,472	△ 0.4%	22,412	△ 4.5%	24,993	+11.5%
	宿泊部門全体	14,645	14,959	+2.1%	15,250	+1.9%	15,864	+4.0%
客室稼働率	シティ	79.9%	80.4%	+0.5pt	86.0%	+5.6pt	88.0%	+2.0pt
	高輪・品川エリア	85.3%	83.4%	△ 1.9pt	89.7%	+6.3pt	89.5%	△ 0.2pt
	リゾート	47.8%	52.8%	+5.0pt	56.5%	+3.7pt	59.1%	+2.6pt
	軽井沢エリア	53.9%	59.4%	+5.4pt	61.2%	+1.8pt	65.2%	+4.0pt
	宿泊部門全体	68.5%	71.7%	+3.2pt	76.6%	+4.9pt	78.8%	+2.2pt

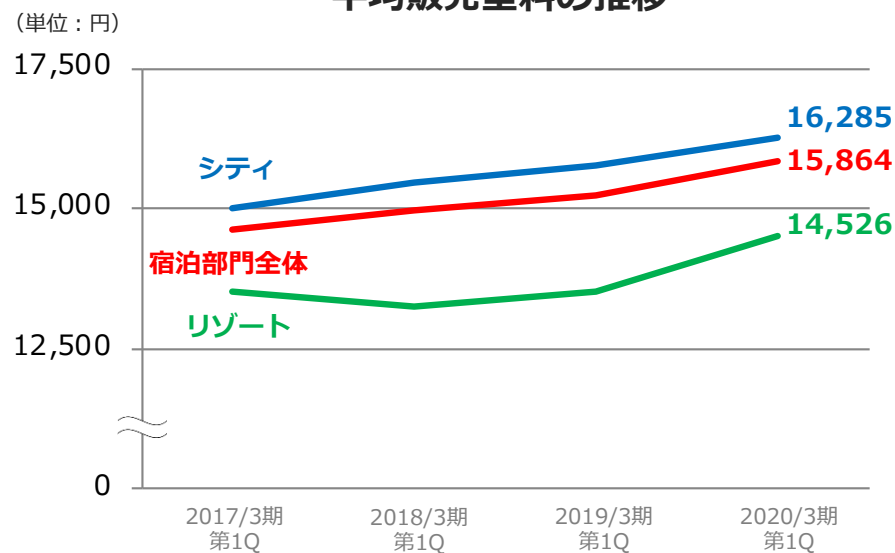
(注) 高輪・品川エリア：ザ・プリンス さくらタワー東京、グランドプリンスホテル高輪、グランドプリンスホテル新高輪、品川プリンスホテル
 軽井沢エリア：ザ・プリンス 軽井沢、ザ・プリンス ヴィラ軽井沢、軽井沢プリンスホテル

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

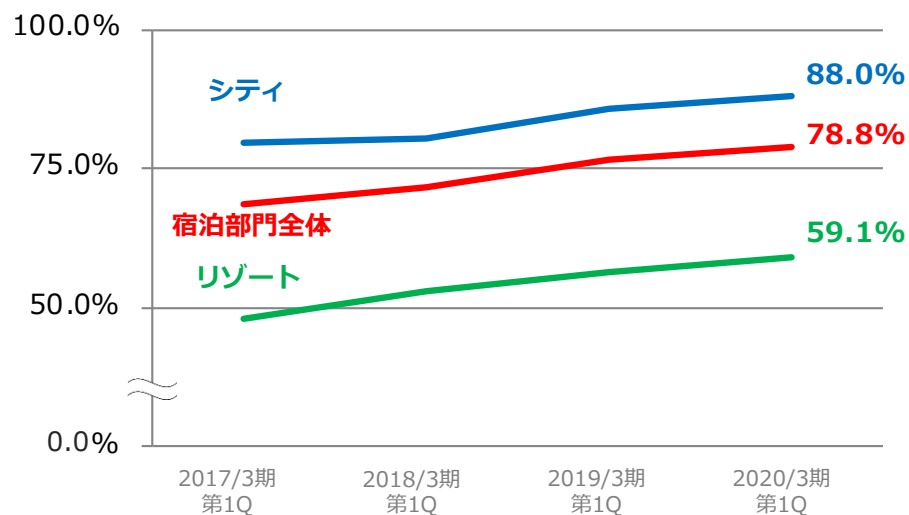
RevPARの推移



平均販売室料の推移



客室稼働率の推移

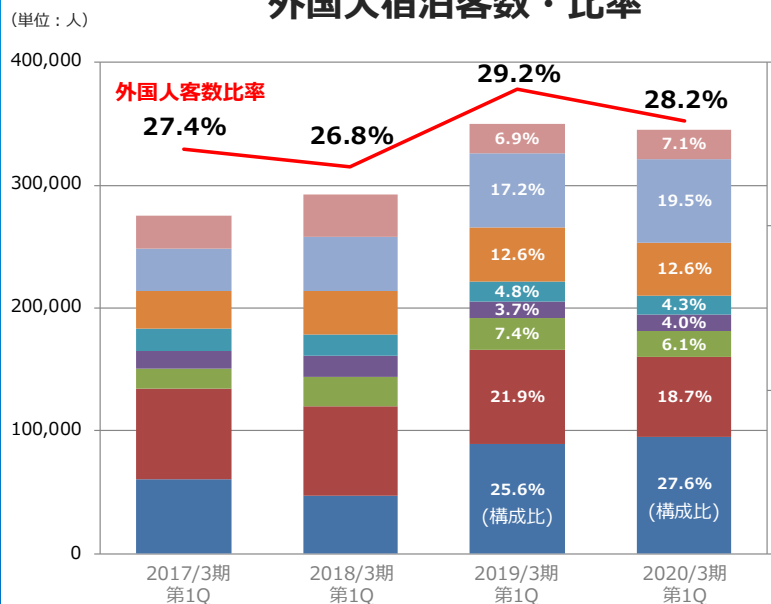


ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向 (宿泊客数・室料収入)

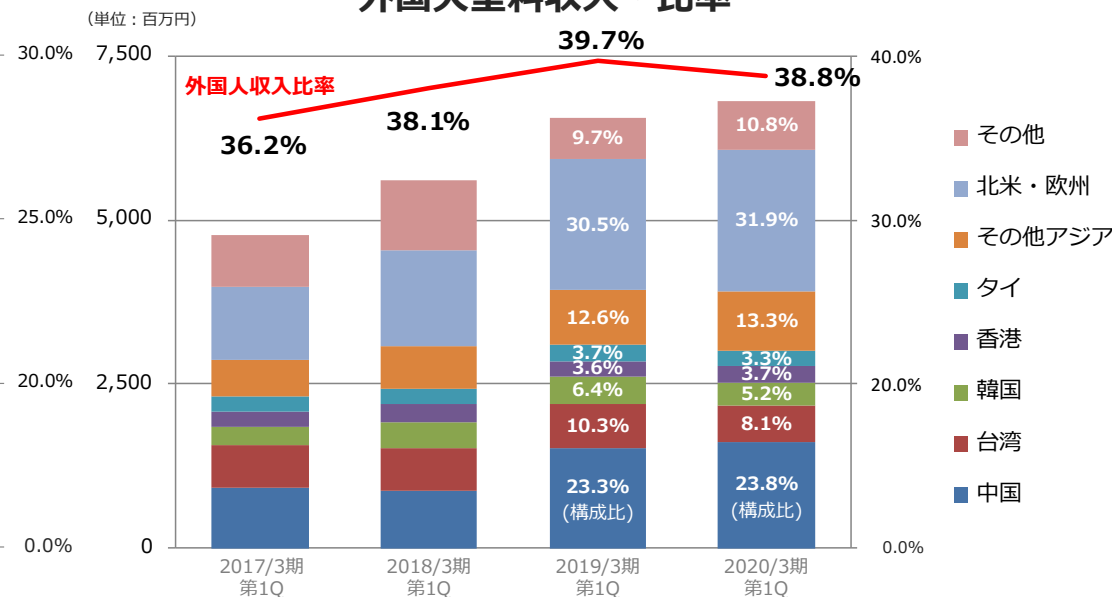
(人員単位：人、金額単位：百万円)

		2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期	2019/3期 第1Q	対前年同期	2020/3期 第1Q	対前年同期
宿泊客数 の内訳	邦人客	730,517	797,001	+ 9.1%	849,904	+ 6.6%	879,138	+ 3.4%
	外国人客	275,152	292,045	+ 6.1%	350,001	+ 19.8%	345,353	△ 1.3%
	計	1,005,669	1,089,046	+ 8.3%	1,199,905	+ 10.2%	1,224,491	+ 2.0%
室料収入	外国人客	4,767	5,603	+ 17.5%	6,562	+ 17.1%	6,807	+ 3.7%

外国人宿泊客数・比率



外国人室料収入・比率

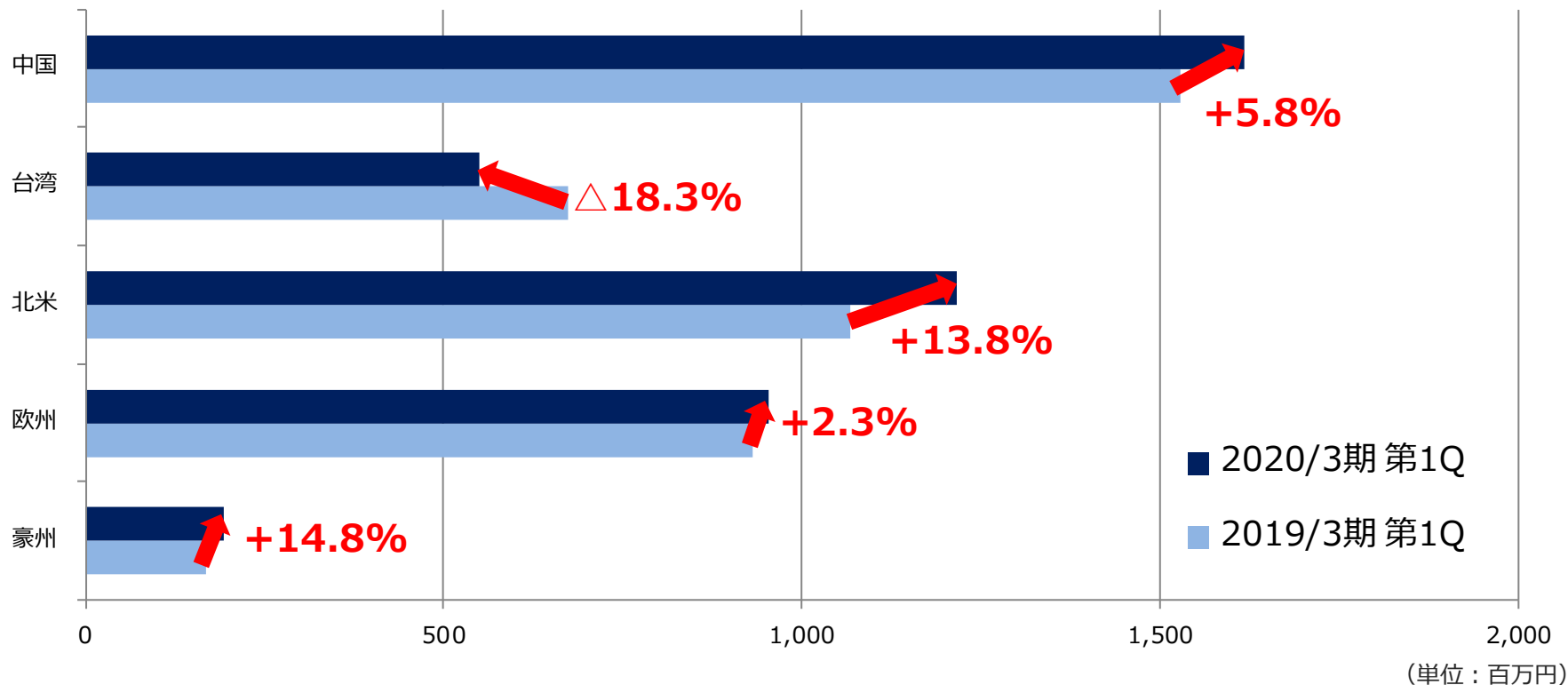


2019年8月1日

Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

ホテル・レジャー事業 マーケットチェンジの状況

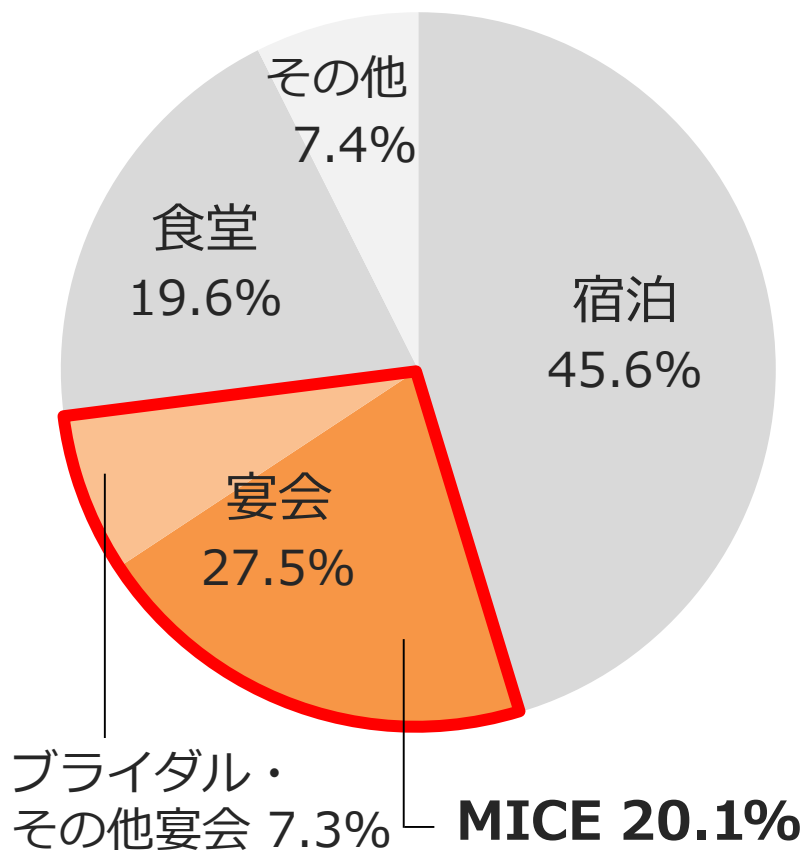
■ 主な国・地域の外国人室料収入



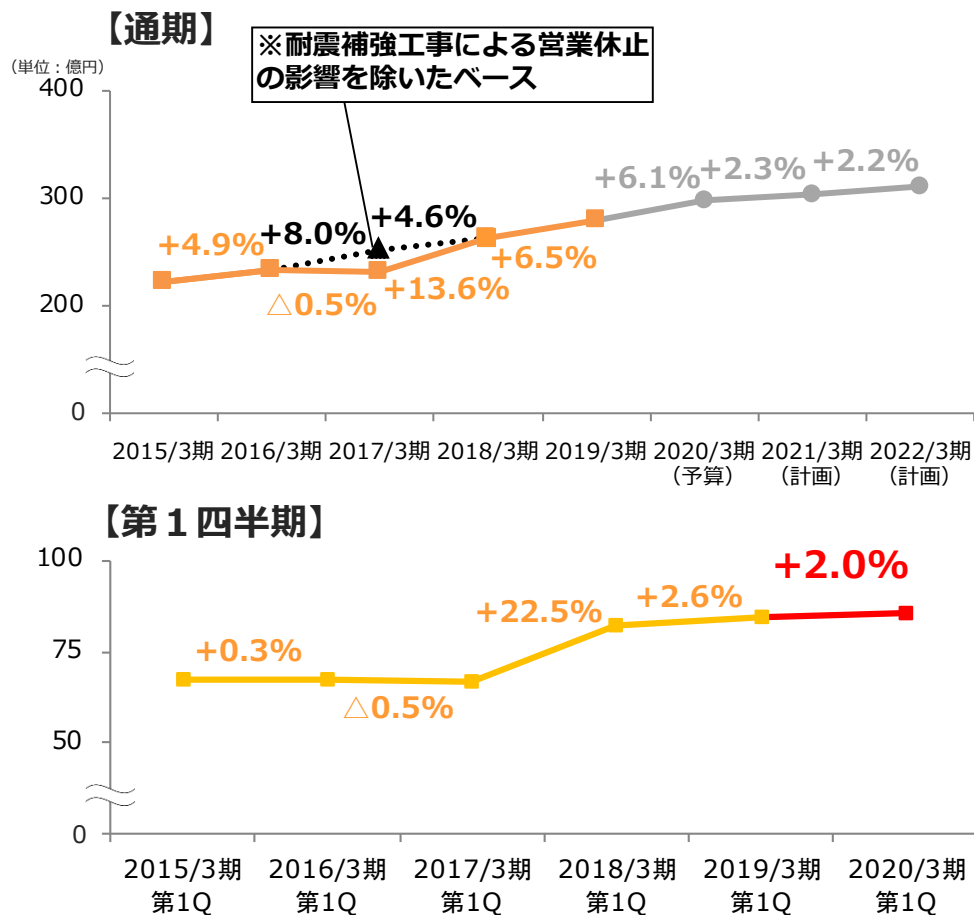
大型連休において、主に日本国内の需要を取り込んだことにより、外国人室料収入の伸びは前年同期と比べて鈍化。北米、欧州、豪州など、より単価の高い地域は引き続き増加。

ホテル・レジャー事業 MICEの状況

■ ホテル業の売上高構成比 (2020年3月期 第1Q)



■ MICE売上高の推移



企業のミーティングやセミナーの需要を着実に取込み、第1四半期時点では計画並みに推移

不動産事業 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第1Q	2020/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	16,541	17,983	+1,442	+8.7%	
不動産賃貸業	11,541	11,976	+434	+3.8%	ダイヤゲート池袋の開業などにより増収
その他	4,999	6,007	+1,007	+20.2%	前年同期にあった保険の販売代理手数料収入がなくなったものの、分譲マンション「アンヴィーネ保谷」の引渡しなどにより増収
営業利益	5,531	5,664	+132	+2.4%	
償却前営業利益	8,075	8,601	+526	+6.5%	ダイヤゲート池袋の減価償却費の計上などがあつたものの、増収により増益

(面積：千㎡)

		2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期	2019/3期 第1Q	対前年同期	2020/3期 第1Q	対前年同期
建物賃貸物件	商業施設	236	238	+ 1	243	+ 5	244	+ 1
の期末貸付面積	オフィス・住宅	83	169	+ 86	173	+ 4	201	+ 27
建物賃貸物件	商業施設	2.0%	0.7%	△ 1.3pt	1.3%	+0.6pt	1.6%	+0.3pt
の期末空室率	オフィス・住宅	49.4%*	1.5%	△ 47.9pt	1.1%	△ 0.4pt	3.9%	+2.8pt

(注) 土地の賃貸は含んでおりません ※「東京ガーデンテラス紀尾井町」の竣工による一時的な上昇

建設事業 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第1Q	2020/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	20,288	24,815	+4,526	+22.3%	
建設業	13,707	18,349	+4,641	+33.9%	民間住宅工事やリノベーション工事、土木工事の増加などにより増収
その他	6,580	6,466	△114	△1.7%	造園請負工事の減少などにより減収
営業利益	563	1,112	+549	+97.5%	
償却前営業利益	659	1,214	+555	+84.2%	増収に加え利益率が向上したことなどにより増益

建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期	2019/3期 第1Q	対前年同期	2020/3期 第1Q	対前年同期
期首繰越高	99,069	89,755	△9,313	100,542	+10,787	88,975	△11,567
期中受注高	20,264	13,185	△7,079	17,655	+4,470	13,476	△4,179
期末繰越高	102,574	85,505	△17,069	104,580	+19,074	84,193	△20,386

ハワイ事業 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第1Q	2020/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	4,997	5,550	+553	+11.1%	前期ウェスティンブランドに加盟し、リニューアルオープンしたウェスティンハプナビーチリゾートが収益向上に寄与したほか、プリンスウイキキのRevPAR上昇および食堂部門の客数の増加などにより増収
営業利益	△14	140	+154	—	増収により損益が改善
償却前営業利益	589	829	+240	+40.8%	

ホテルの営業指標

	2017/3期 第1Q	2018/3期 第1Q	対前年同期	2019/3期 第1Q	対前年同期	2020/3期 第1Q	対前年同期
RevPAR (円)	20,691	20,014	△ 3.3%	28,643	+ 43.1%	31,528	+ 10.1%
RevPAR (米ドル)	188.10	190.61	+ 1.3%	249.07	+ 30.7%	274.15	+ 10.1%
平均販売室料 (円)	29,167	31,165	+ 6.9%	38,849	+ 24.7%	40,802	+ 5.0%
平均販売室料 (米ドル)	265.15	296.81	+ 11.9%	337.82	+ 13.8%	354.80	+ 5.0%
客室稼働率	71.0%	64.2%	△ 6.8pt	73.7%	+9.5pt	77.3%	+3.6pt

その他 概況

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第1Q	2020/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	12,597	13,644	+1,047	+8.3%	西武ライオンズにおいて各種営業施策の実施により観客動員数が増加したほか、メットライフドームのコンサート等の貸会場収入が増加したことなどにより増収
営業利益	1,399	1,979	+580	+41.5%	増収により増益
償却前営業利益	2,118	2,747	+628	+29.7%	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2020年3月期 第1四半期の主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2020年3月期 連結業績予想	P25

連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第1Q	2020/3期 第1Q	対前年同期	摘要
営業収益	136,259	144,839	+8,579	都市交通・沿線：+7億円、ホテル・レジャー：+20億円、 不動産：+14億円、建設：+45億円、ハワイ：+5億円、 その他：+10億円、調整額：△18億円
営業利益	20,181	21,520	+1,338	都市交通・沿線：+1億円、ホテル・レジャー：△1億円、 不動産：+1億円、建設：+5億円、ハワイ：+1億円、 その他：+5億円、調整額：△0億円
営業外収益	1,020	769	△ 250	
営業外費用	2,802	2,843	+41	
経常利益	18,399	19,446	+1,046	
特別利益	97	324	+227	
特別損失	866	666	△ 200	
税金等調整前四半期純利益	17,629	19,104	+1,475	
法人税等	4,602	4,670	+67	
四半期純利益	13,027	14,434	+1,407	
非支配株主に帰属する四半期純利益	135	167	+31	
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,892	14,267	+1,375	

営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2019/3期 第1Q	2020/3期 第1Q	対前年同期	摘要
営業利益	20,181	21,520	+1,338	
営業外収益	1,020	769	△ 250	
受取利息・配当金	462	451	△ 11	
バス路線運行維持費補助金	127	113	△ 13	
為替差益	219	—	△ 219	
その他営業外収益	210	204	△ 6	
営業外費用	2,802	2,843	+41	
支払利息	2,551	2,500	△ 50	
持分法による投資損失	45	49	+4	
その他営業外費用	205	293	+88	
経常利益	18,399	19,446	+1,046	
特別利益	97	324	+227	
固定資産売却益	13	11	△ 2	
工事負担金等受入額	6	252	+246	
補助金収入	59	50	△ 9	
投資有価証券売却益	—	10	+10	
その他特別利益	17	—	△ 17	
特別損失	866	666	△ 200	
固定資産売却損	5	—	△ 5	
固定資産除却損	189	362	+172	
工事負担金等圧縮額	6	245	+239	
固定資産圧縮損	44	38	△ 6	
投資有価証券評価損	618	20	△ 598	
その他特別損失	2	—	△ 2	
税金等調整前四半期純利益	17,629	19,104	+1,475	

連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2019/3期 期末	2020/3期 1Q末	対前期	摘要
資産 合計	1,728,929	1,725,294	△ 3,634	
流動資産	134,512	132,074	△ 2,437	現金及び預金 △1,896 分譲土地建物 △970 その他 △1,128 未成工事支出金 +1,910
固定資産	1,594,417	1,593,220	△ 1,196	投資有価証券 △7,836 有形・無形固定資産 +4,981 繰延税金資産 +2,286
負債 合計	1,306,214	1,302,490	△ 3,724	
流動負債	367,238	334,565	△ 32,673	短期借入金 △16,545 支払手形及び買掛金 △7,462 未払法人税等 △2,458 その他 △26,685 (設備投資未払金等の減少) 前受金 +14,679 賞与引当金 +5,484
固定負債	938,976	967,925	+28,948	長期借入金 +26,449 リース債務 +3,428
純資産 合計	422,715	422,804	+89	利益剰余金 +8,533 その他有価証券評価差額金 △5,567 自己株式 △2,713
有利子負債 期末残高	905,057	918,866	+13,808	
ネット有利子負債	878,508	894,213	+15,705	

2019年8月1日

Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2020年3月期 第1四半期の主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2020年3月期 連結業績予想	P25

2020年3月期 連結業績予想 (期初予想と変更はございません)

2020年3月期 第2四半期 (累計) 予想

(金額単位：億円)

	連結	都市交通・沿線事業	ホテル・レジャー事業	不動産事業	建設事業	ハワイ事業	その他	調整額
	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期
営業収益	2,945 + 4.0%	844 + 2.6%	1,172 + 6.8%	342 + 4.7%	485 + 0.6%	111 + 17.8%	263 + 1.5%	△ 272 -
営業利益	401 △ 4.7%	158 △ 1.6%	100 △ 3.8%	95 △ 9.7%	17 △ 19.8%	2 -	30 △ 0.3%	△ 1 -
償却前営業利益	679 △ 0.7%	265 △ 0.4%	183 △ 0.7%	153 △ 2.0%	19 △ 18.0%	16 + 112.8%	46 + 2.7%	△ 3 -
経常利益	360 △ 5.8%							
親会社株主に帰属する 四半期純利益	258 △ 0.6%							

2020年3月期 通期予想

(金額単位：億円)

	連結	都市交通・沿線事業	ホテル・レジャー事業	不動産事業	建設事業	ハワイ事業	その他	調整額
	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期
営業収益	5,844 + 3.3%	1,661 + 1.8%	2,340 + 6.5%	661 △ 5.1%	1,086 △ 1.0%	254 + 33.1%	408 △ 2.7%	△ 566 -
営業利益	710 △ 3.2%	256 △ 5.5%	209 + 5.9%	170 △ 15.4%	54 △ 8.3%	21 -	△ 2 -	2 △ 68.8%
償却前営業利益	1,285 + 0.9%	483 △ 1.0%	378 + 4.8%	287 △ 5.7%	59 △ 6.6%	50 + 314.6%	31 △ 28.1%	△ 3 -
経常利益	627 △ 4.2%							
親会社株主に帰属する 当期純利益	462 + 1.6%							

(注) 連結業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。